

おまけ：思い込み。

D a v i dのおやつ。日本に来たことがあるが。。。知っていると思っていたが。。。。

アメリカのワシントン DC に住むデーヴィッド博士。。。スミソニアン自然史博物館で小さな蛾を研究している。DCを訪れるときにはいつもお世話になる。数年前に日本に来られ国内を一緒に旅することが出来た。日本食も気に入られ、今では彼の好物となっている。そこで日本人も少し日頃食べないお菓子、「尾張 松風屋の味好み」というイカやエビが丸ごと入ったせんべいを郵送でデーヴィッドに贈った。

このせんべい、色とりどりのせんべいが子袋に小分けされていて、せんべい以外に大きな乾燥剤「エムケーパックという生石灰乾燥剤（内容量5g）」がドンと入っている。日本人には馴染み深い乾燥剤。しかしアメリカなど外国ではこういった食品を新鮮に保つためにここまではこっていない。だいたい食品そのものに酸化防止や防腐剤、保存するための添加物が入っている。。。ここで分かるのが日本の健康志向、おいしさが価格以前に重視されている。

それはさておき、今回もスミソニアンを訪れた際にデーヴィッドにこのせんべいの詰め合わせを贈った。一緒に食べようとしたときに、僕にお湯は要らないのかと聞いてきたので、そうかなんかあったかいお茶でも入れたほうがええのかなあと思いきや、なんとその子袋のせんべいを味噌汁のようなスープ系のものと勘違いしていたようで、乾燥剤をスープの素としてスープ皿に入れ、せんべいを入れ、お湯をかけ。。。いただいていたそう。

さすがにマジかいなあ！と何回も問いただし、そんなもん食って体調壊さんかったんかいな？味はどうやったん？などなどを聞いて、帰ってきた言葉が「美味しかった」だからびっくりこいてしまいました。またデーヴィッドが言うには、「お湯を入れた後、スープが黒くなったのでスープの中身が見えなかった」という。おそらくそれはせんべい一枚がイカ墨せんべいで、それがお湯に溶け出し、黒くなったのだろう。中身が見えないおかげで余計にスプーン運びに違和感が無かったと言う卑劣な結果となってしまったと予想する。

それでその乾燥剤の袋に書いてあるのは読まなかったのか？と聞くと、やはりご年齢のせいか、「ちゃんと見えていなかった、読まなかった」ということである。乾燥剤の袋には‘Warning MK Pack Do not Eatたべられません’と大きく書いてあり、また図柄と共に「たべない、ぬらさない、あけない、子供に注意」と念をおして書いてあった。他には「口や目に入った場合すぐ水で洗った後、医師に相談してください。」「水気のあるところに捨てないでください。発熱することがあります。」しかし、今回はその正反対のことが自然とおこっていたのである。それは。。。。

1. 「たべない、ぬらさない、あけない、子供に注意」 → 大人に注意、あける、ぬらす、たべる。
2. 「口や目に入った場合すぐ水で洗った後、医師に相談してください。」 → 口に自ら入れる。入る以前の問題やろ～。
3. 「水気のあるところに捨てないでください。発熱することがあります。」 → お湯をかけるのは発熱と水気以前の問題やろ～。

ここで着目していただきたいことは、思い込み。まず、デーヴィッドが日本を訪れた時にある程度日本についての知識が増え、彼なりに日本のことを理解し始めた。僕もせんべいぐらいの食べ方ぐらいは日本を以前訪れて日本食が好きな彼なら知っているだろう。。。“中途半端”にあることを知ってしまうと思わぬ誤解が生じる。。思い込みという「確信」が起きやすいのでは？ デーヴィッドもそれなりの確信がそれなりの経験から生まれ、僕も‘デーヴィッドが日本に来たことがあるからせんべいぐらい分かるやろう’という思い込みという「確信」があったために、今回のこういった「事件」が起こったのだろう。

その通り！ That street!

That is right. それ です 右。(それは右です。)

日本語感で直直訳の世界もいつかとりあげたいもんやね。

2009年7月31日 サンホセ、コスタリカ

西田賢司

P.S. Q. 思い込みという確信をなくすにはどうすればよいのだろう。。。？ それは。。。

A. 経験を積みつつ、知識を蓄え続けつつ、初心を持ち続けることなのかもしれない。